

承認番号:RD 6109-011

文書番号:14038973

平成 26 年 3 月 13 日

大型タイル・石材用接着剤
マルチ EP 試験成績書

1. 目的

大型タイル・石材用接着剤「マルチ EP」の接着性能評価を実施した。

2. 試験項目

JIS A 5548 タイプ I に基づく接着強さ試験

3. 供試材料

被着材:陶器質タイル(40×40mm)

下地材:モルタル板(70×70×20mm)

4. 試験方法

4.1 試験体の作製

JIS A 5548「陶磁器質タイル用接着剤」に準じて、主剤：硬化剤=1：1(重量比)、全量 300g となるように接着剤を練り混ぜ、試験体を作製した。その後、既定の条件下で養生した。なお、下地材は1週間水中浸せきし、表面の水をウエスで軽くふき取り使用した。

4.2 養生条件

標準…標準状態で 168 時間養生。

低温硬化…低温(5±2℃)雰囲気中で 840 時間養生。

温水…低温雰囲気中で 168 時間養生した後、温水(50±2℃)中に 24 時間養生。

アルカリ水中…標準状態で 168 時間養生した後、水酸化カルシウム飽和溶液中に 48 時間養生。

熱劣化…標準状態で 168 時間養生した後、高温乾燥(60±2℃)雰囲気中に 672 時間養生。処理終了後、試験体を標準状態で 24 時間静置した後測定した。

4.3 測定条件

テンシロン万能材料試験機 RTF-2410 により、変位速度 3mm/min にて測定を行った。

5. 試験結果

表 1 引張接着強さ試験結果

養生条件	接着強さ	破断位置
	N/cm ²	%
標準	307.5	A30G70
低温硬化	266.8	G100
温水	117.3	A100
アルカリ水中	286.0	A100
熱劣化	345.0	B20G80

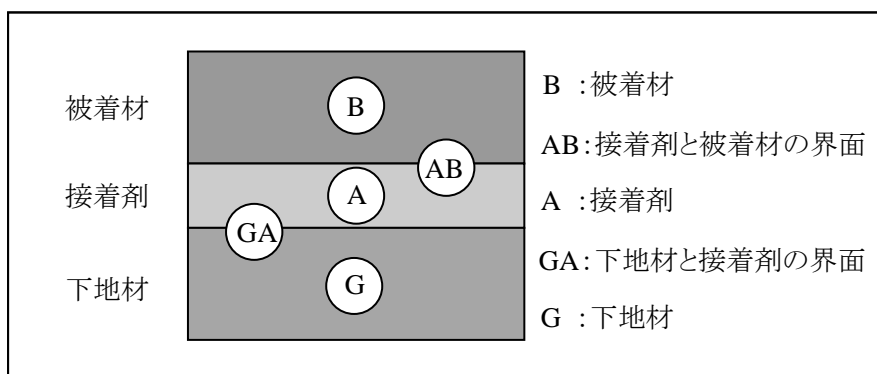


図 1 破断位置

6. 判定基準

JIS A 5548 タイプ I の判定基準を下記に示す。

表 2 JIS A 5548 タイプ I 判定基準

接着強さ	標準	58.8N/cm ² 以上
	低温硬化	29.4N/cm ² 以上
	温水	29.4N/cm ² 以上
	アルカリ水中	29.4N/cm ² 以上
	熱劣化	29.4N/cm ² 以上

注)接着強さは数値以下でもその破断位置が下地材または被着材であれば合格とする。

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。

作成:平成 14 年 12 月 5 日 (文書番号:02124884)

改訂:平成 26 年 3 月 13 日 (文書番号:14038973)